浦山（うらやま）ダム

1. 施設諸元

浦山ダム	荒川水系　浦山川
	管理開始：1999 年 4 月 1 日

目　　的

洪水調節

荒川の治水の一環として、ダム地点における計画高水流量 1,000m³/s のうち、890m³/s の洪水調節を行い、荒川上流の他のダム群とともに下流の高水流量を低減する。

流水の正常な機能の維持

浦山川平沢地点において、0.7m³/s の水量を確保する。

荒川の寄居地点において、他の荒川水系ダム群と相まって、かんがい期最大概ね 23m³/s、非かんがい期最大概ね 9m³/s を確保する。

荒川の秋ヶ瀬取水堰下流地点において、他の荒川水系ダム群と相まって、概ね 5m³/s の水量を確保する。荒川沿岸の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図る。

都市用水

秩父市水道用水として 0.234m³/s をダム地点で、埼玉県水道用水として 2.696m³/s、東京都水道用水として 1.170m³/s を荒川の秋ヶ瀬取水堰地点で確保する。

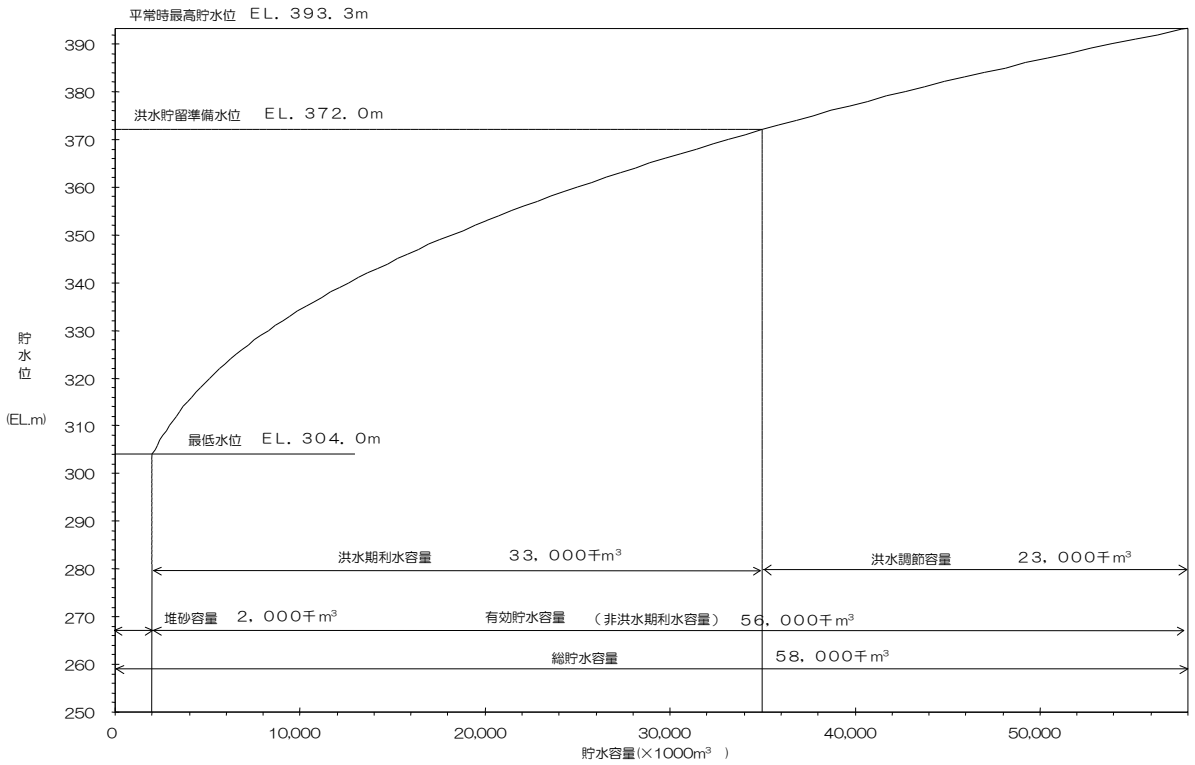
発　　電

浦山発電所により、最大出力 5,000kW の発電を行う。（東京発電株式会社）

諸　　元

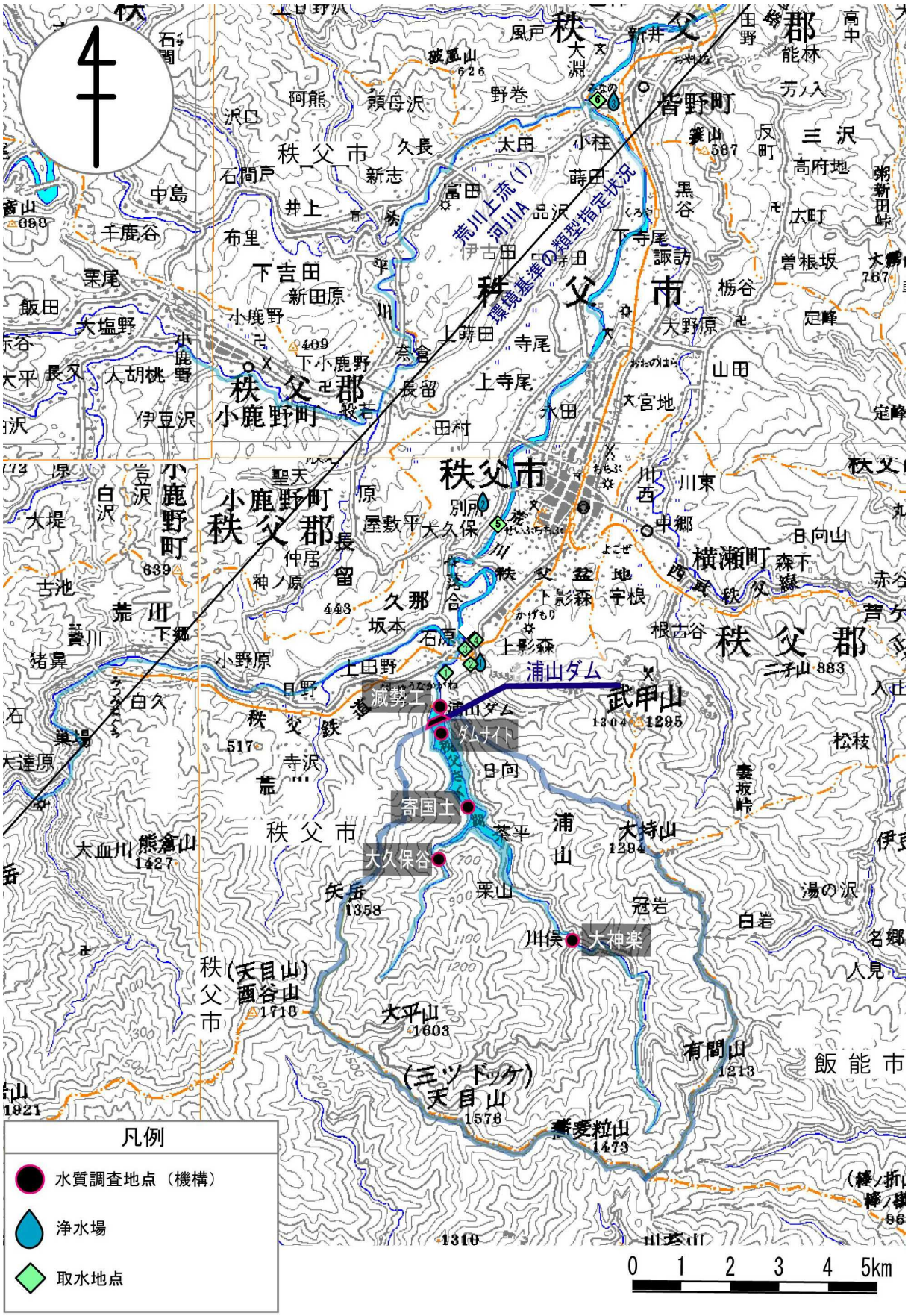
河川名	荒川水系　浦山川	流域面積	51.6 km²
位置	右岸　埼玉県秩父市荒川久那	湛水面積	1.2 km²
	左岸　埼玉県秩父市荒川上田野	湛水延長	5.2 km
型式	重力式コンクリートダム	平常時最高貯水位	EL. 393.30 m
堤頂長	372.0 m	洪水貯留準備水位	EL. 372.00 m
堤高	156.0 m	最低水位	EL. 304.00 m
堤体積	1,750,000 m³	総貯水量	58,000,000 m³
		有効貯水量	56,000,000 m³

貯水池水位-容量曲線図



2. 水質基本情報

（1）水質基本情報図



（２）主な取水状況

取水地点	浄水場地点	取水者情報		取水地点	使用用途
1	1	秩父広域市町村圏組合水道局	橋立浄水場	浦山川右岸（秩父市）	水道用水
2	1	〃	〃	橋立川右岸（秩父市）	水道用水
3		株式会社レゾナック		浦山川右岸（秩父市）	工業用水
4	1	秩父広域市町村圏組合水道局	橋立浄水場	浦山川右岸（秩父市）	水道用水
5	2	〃	別所浄水場	荒川左岸（秩父市）	水道用水
6	3	〃	皆野浄水場	荒川右岸（皆野町）	水道用水
		埼玉県	大久保浄水場	荒川左岸（さいたま市）	水道用水 工業用水
		東京都	朝霞浄水場	荒川右岸（志木市） （秋ヶ瀬取水堰等　朝霞水路）	水道用水

＊取水地点１～４、６を除き浦山ダム利水者

（３）環境基準類型指定（2022 年４月）

浦山ダムがある浦山川流域の環境基準類型は未指定であるが、河川については本川である荒川上流の環境基準類型、ダム湖については本川上流の二瀬ダム湖の環境基準類型を参考とする。

１）二瀬ダム（参考）

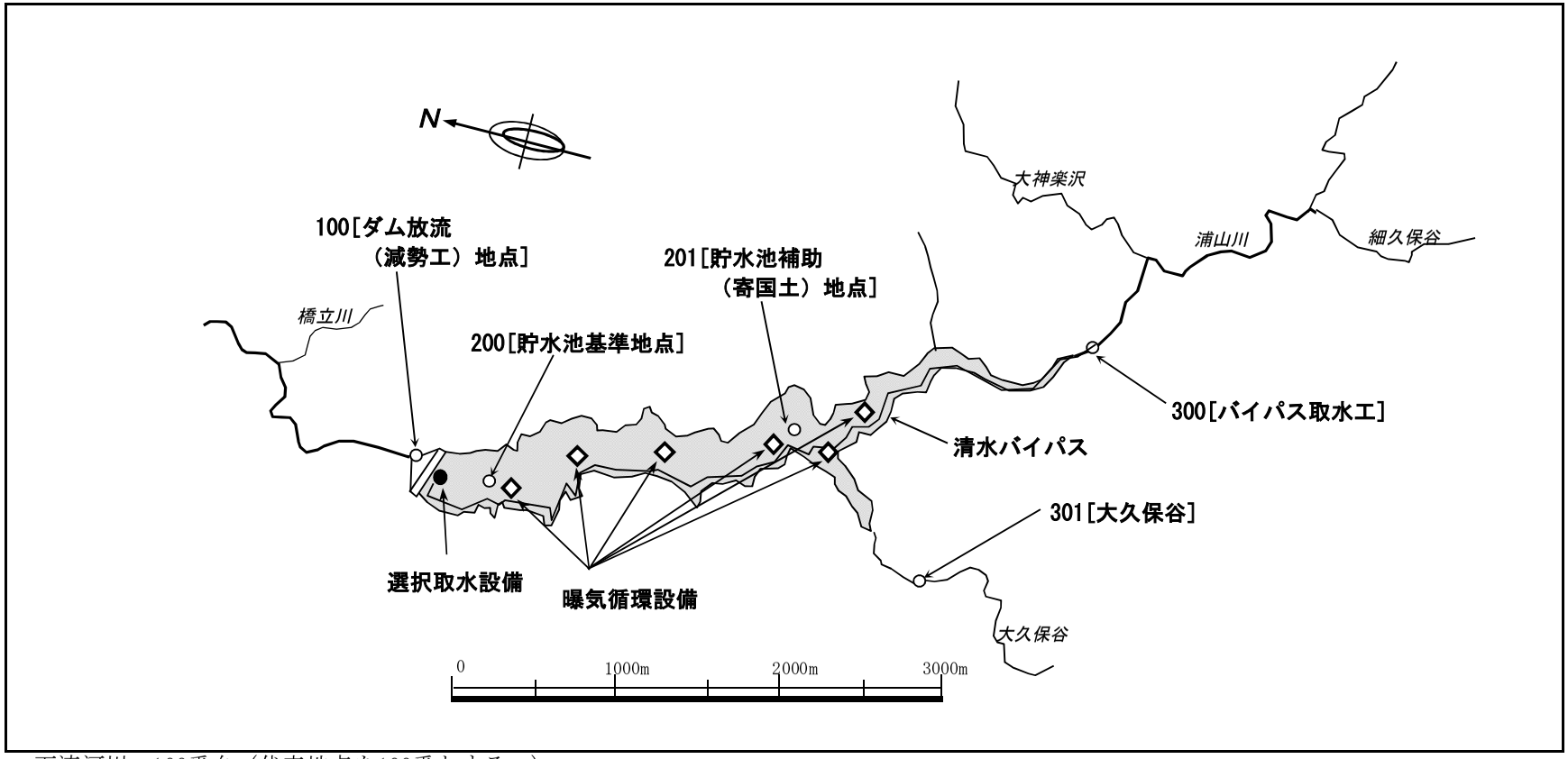
環境基準類型区分	類型指定年	項目及び基準値				
湖沼Ａ	平成15年	ｐＨ	ＣＯＤ	ＳＳ	ＤＯ	大腸菌数
		6.5 以上 8.5 以下	3mg/L 以下	5mg/L 以下	7.5mg/L 以上	300CFU/100mL 以下
湖沼Ⅲ	平成15年	全窒素	全りん			
		－	0.03mg/L 以下			
湖沼生物Ａ	平成21年	全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝｽﾙﾎﾝ酸及びその塩		
		0.03 mg/L 以下	0.001mg/L 以下	0.03mg/L 以下		

２）荒川上流（参考）

環境基準類型区分	類型指定年	項目及び基準値				
河川Ａ	昭和47年	ｐＨ	ＢＯＤ	ＳＳ	ＤＯ	大腸菌数
		6.5 以上 8.5 以下	2mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	300CFU/100mL 以下
河川生物Ａ	平成21年	全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝｽﾙﾎﾝ酸及びその塩		
		0.03mg/L 以下	0.001mg/L 以下	0.03mg/L 以下		

３. 水質調査の実施状況

（１）水質調査地点位置図



・下流河川：100番台（代表地点を100番とする。）
・貯水池内：200番台（代表地点を200番とし、補助地点を201とする。）
・流入河川：300番台（代表地点を300番とし、補助地点を301とする。）

(2)2022年　調査実施状況(項目、測定地点、測定回数)　　(年測定回数:回)

		調　査　項　目	流入河川		貯水池内		下流河川(放流)
			300	301	200	201	100
			バイパス取水工	大久保谷	貯水池基準地点	貯水池補助(寄国土)地点	ダム放流(減勢工)地点
水質	一般項目	透視度	12	12			12
		透明度			12	12	
		水色			12	12	
		臭気	12	12	12＊	12	12
		水温	12	12	12＊※	12	12
		濁度	12	12	12＊※	12	12
		電気伝導度	12	12	12＊※	12	12
	生活環境項目など *斜字:関連項目*	溶存酸素量(DO)	12	12	12＊※	12	12
		水素イオン濃度(pH)	12	12	12＊※	12	12
		生物化学的酸素要求量(BOD)	12	12	12＊	12	12
		化学的酸素要求量(COD)	12	12	12＊	12	12
		浮遊物質量(SS)	12	12	12＊	12	12
		大腸菌群数	3	3	3＊	3	3
		ふん便性大腸菌	3	3	3＊	3	3
		大腸菌数	9	9	9＊	9	9
		全窒素	12	12	12＊	12	12
		全りん	12	12	12＊	12	12
		全亜鉛	12	12	12＊	12	12
		ノニルフェノール			12		
		直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝｽﾙﾎﾝ酸及びその塩(LAS)			12		
	富栄養化関連項目	クロロフィルa	12	12	12＊	12	12
		フェオフィチン			12＊		
	形態別栄養塩項目	アンモニア性窒素	12	12	12＊	12	
		亜硝酸性窒素	12	12	12＊	12	
		硝酸性窒素	12	12	12＊	12	
		オルトリン酸態リン	12	12	12＊	12	
		溶解性総リン	12	12	12＊	12	
		溶解性オルトリン酸態リン	12	12	12＊	12	
	水道水源関連項目	2-MIB			12		
		ジェオスミン			12		
	健康項目	カドミウム			1		
		全シアン			1		
		鉛			1		
		六価クロム			1		
		砒素			1		
		総水銀			1		
		アルキル水銀			1		
		PCB			1		
		ジクロロメタン			1		
		四塩化炭素			1		
		1,2-ジクロロエタン			1		
		1,1-ジクロロエチレン			1		
		シス-1,2-ジクロロエチレン			1		
		1,1,1-トリクロロエタン			1		
		1,1,2-トリクロロエタン			1		
		トリクロロエチレン			1		
		テトラクロロエチレン			1		
		1,3-ジクロロプロペン			1		
		チウラム			1		
		シマジン			1		
		チオベンカルブ			1		
		ベンゼン			1		
		セレン			1		
		ふっ素			1		
		ほう素			1		
		1,4-ジオキサン			1		
底質		強熱減量			2		
		化学的酸素要求量(COD)			2		
		全窒素			2		
		全りん			2		
		硫化物			2		
		鉄			2		
		マンガン			2		
		カドミウム			2		
		鉛			2		
		六価クロム			2		
		砒素			2		
		総水銀			2		
		アルキル水銀			2		
		PCB			2		
		チウラム			2		
		シマジン			2		
		チオベンカルブ			2		
		セレン			2		
		粒度組成			2		
生　物		植物プランクトン			12	12	
備　考		・生活環境項目など　12回:毎月測定 ・健康項目:8月測定　　・底質項目:2月、8月測定　　・生物:毎月測定 ＊:3水深測定項目(表層、1/2水深、底層)　※:計器測定項目(多水深測定)					

４．2022 年　水質の概況

（１）　施設全体の水質の概況

2022 年の浦山ダム水質状況は、概ね例年と同程度の値で推移したが、貯水池基準地点の 1/2 水深および底層で BOD が、また貯水池基準地点の底層で全窒素が高い値を検出する月があった。8 月の BOD については、調査前に降雨がみられたため、一時的に有機物の流入があったものと考えられ、また底層では嫌気化による底泥からの有機物の影響と考えられる。

5 月に流入端（大久保谷）付近において渦鞭毛藻綱による淡水赤潮がみられたが、本川筋への影響は限定的かつ基準地点への影響はみられず、また一時的なものであった。

その他、濁水長期化等の水質異常の発生がなく、安定した水質状況であった。

（２）　地点毎の水質の状況

１）300 バイパス取水工（流入河川）

2022 年の経月変化を過去 5 年平均値と比較すると、概ね例年と同程度の値で推移していたが、3 月にクロロフィル a、7 月に COD、全窒素で高い値を検出した。

2022 年の平均値または 75%値について経年変化でみると、概ね横ばい傾向で推移している。

２）301 大久保谷（流入河川）

2022 年の経月変化を過去 5 年平均値と比較すると、概ね例年と同程度の値で推移していたが、3 月にクロロフィル a、7 月に COD、全窒素、全りん、8 月に濁度、SS で高い値を検出した。

2022 年の平均値または 75%値について経年変化でみると、概ね横ばい傾向で推移している。

３）200 貯水池基準地点（表層）

2022 年の経月変化を過去 5 年平均値と比較すると、概ね例年と同程度の値で推移していたが、4 月に BOD、9 月に COD で高い値を検出した。

2022 年の平均値または 75%値について経年変化でみると、概ね横ばい傾向で推移している。

４）100 ダム放流（減勢工）地点（下流河川）

2022 年の経月変化を過去 5 年平均値と比較すると、概ね例年と同程度の値で推移していたが、3 月にクロロフィル a で高い値を検出した。

2022 年の平均値または 75%値について経年変化でみると、概ね横ばい傾向で安定していた。

5. 2022年　水質調査結果

（1） 一般項目、生活環境項目、富栄養化関連項目

測定項目	地点名	基準値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	最小	最大	平均	評価
水温	300バイパス取水工（流入河川）	－	1.5	0.3	2.8	10.8	10.3	13.5	17.5	19.3	18.5	11.5	8.8	5.0	0.3	19.3	10.0	－
（℃）	301大久保谷（流入河川）	－	2.3	1.0	3.2	12.2	12.5	14.9	19.0	21.5	19.0	15.5	10.5	5.0	1.0	21.5	11.4	－
	200貯水池内基準地点（表層）	－	8.6	7.1	6.7	14.6	13.4	16.1	20.5	24.8	23.9	21.9	17.7	14.0	6.7	24.8	15.8	－
	200貯水池内基準地点（全層）	－	8.2	7.0	6.4	9.1	8.7	9.7	11.1	12.6	12.4	11.8	10.5	9.4	6.4	12.6	9.7	－
	100減勢工（下流河川）	－	2.7	5.3	5.5	11.5	11.5	15.0	14.6	20.0	17.5	13.9	12.0	9.5	2.7	20.0	11.6	－
水素イオン濃度（pH）	300バイパス取水工（流入河川）	6.5～8.5	7.8	7.8	7.9	7.8	7.8	7.9	7.9	8.0	8.1	7.9	7.9	7.8	7.8	8.1	7.9	0/12
	301大久保谷（流入河川）	6.5～8.5	7.7	7.7	7.8	7.7	7.7	7.7	7.8	7.8	7.9	7.8	7.5	7.7	7.5	7.9	7.7	0/12
	200貯水池内基準地点（表層）	6.5～8.5	7.8	7.5	7.7	7.8	7.8	7.7	7.9	8.1	8.1	7.7	7.9	7.9	7.5	8.1	7.8	0/12
	200貯水池内基準地点（全層）	6.5～8.5	7.6	7.5	7.6	7.6	7.6	7.5	7.6	7.5	7.5	7.4	7.5	7.7	7.4	7.7	7.6	0/12
	100減勢工（下流河川）	6.5～8.5	7.8	7.5	7.7	7.8	7.8	7.8	7.6	7.3	7.6	7.3	7.4	7.8	7.3	7.8	7.6	0/12
生物化学的酸素要求量	300バイパス取水工（流入河川）	2	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	0.5	○
（BOD）	301大久保谷（流入河川）	2	0.5	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.5	○
（mg/l）	200貯水池内基準地点（表層）	－	<0.5	<0.5	<0.5	1.1	0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	<0.5	<0.5	0.7	<0.5	1.1	0.6	－
	200貯水池内基準地点（全層）	－	0.5	0.5	0.5	0.8	0.5	0.5	0.5	1.0	0.6	0.6	0.5	0.7	0.5	1.0	0.6	－
	100減勢工（下流河川）	2	0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.5	0.5	<0.5	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	0.7	<0.5	0.7	0.5	○
化学的酸素要求量	300バイパス取水工（流入河川）	－	<0.5	<0.5	0.5	0.6	<0.5	<0.5	1.5	0.8	0.9	0.7	<0.5	<0.5	<0.5	1.5	0.7	－
（COD）	301大久保谷（流入河川）	－	0.5	0.5	0.7	1.0	<0.5	0.6	1.9	0.9	0.9	0.6	0.7	0.5	<0.5	1.9	0.8	－
（mg/l）	200貯水池内基準地点（表層）	3	1.1	0.7	1.2	1.4	0.8	1.1	1.2	1.5	2.0	1.6	1.1	1.3	0.7	2.0	1.3	○
	200貯水池内基準地点（全層）	3	1.0	0.9	1.2	1.3	0.7	0.9	1.1	1.3	1.5	1.6	1.1	1.4	0.7	1.6	1.2	○
	100減勢工（下流河川）	－	1.1	1.2	1.6	1.2	0.6	1.0	1.1	1.3	1.3	1.0	1.0	1.0	0.6	1.6	1.1	－
浮遊懸濁物（SS）	300バイパス取水工（流入河川）	25	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	1	0/12
（mg/l）	301大久保谷（流入河川）	25	<1	<1	<1	1	<1	<1	1	7	<1	1	<1	<1	<1	7	2	0/12
	200貯水池内基準地点（表層）	5	<1	1	1	1	1	<1	<1	2	2	<1	1	1	<1	2	1	0/12
	200貯水池内基準地点（全層）	5	1	1	1	1	1	1	6	10	4	2	1	1	1	10	3	2/12
	100減勢工（下流河川）	25	2	2	3	<1	1	1	1	2	1	1	1	<1	<1	3	1	0/12
濁度	300バイパス取水工（流入河川）	－	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	1	－
（度）	301大久保谷（流入河川）	－	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	5	<1	<1	<1	<1	<1	5	1	－
	200貯水池内基準地点（表層）	－	1	1	1	1	<1	<1	<1	2	3	<1	<1	1	<1	3	1	－
	200貯水池内基準地点（全層）	－	2	2	1	1	1	2	7	14	5	3	3	2	1	14	4	－
	100減勢工（下流河川）	－	1	2	3	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	3	2	－
溶存酸素（DO）	300バイパス取水工（流入河川）	7.5	13.0	14.0	13.0	10.0	11.0	10.0	9.3	9.7	9.6	10.0	11.0	12.0	9.3	14.0	11.0	0/12
（mg/l）	301大久保谷（流入河川）	7.5	13.0	13.0	13.0	10.0	10.0	10.0	9.2	8.9	9.6	10.0	11.0	12.0	8.9	13.0	11.0	0/12
	200貯水池内基準地点（表層）	7.5	10.0	10.0	12.0	10.0	11.0	10.0	10.0	9.6	9.6	9.5	9.3	10.0	9.3	12.0	10.0	0/12
	200貯水池内基準地点（全層）	7.5	7.7	7.2	8.3	7.3	7.8	8.1	13.0	19.0	9.9	8.2	8.4	7.0	7.0	19.0	9.3	3/12
	100減勢工（下流河川）	7.5	12.0	11.0	12.0	10.0	10.0	10.0	9.7	9.4	9.7	9.8	10.0	10.0	9.4	12.0	10.0	0/12
大腸菌群数	300バイパス取水工（流入河川）	1000	49	49	23	－	－	－	－	－	－	－	－	－	23	49	40	0/3
（MPN/100ml）	301大久保谷（流入河川）	1000	46	23	33	－	－	－	－	－	－	－	－	－	23	46	34	0/3
	200貯水池内基準地点（表層）	1000	49	7	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	49	20	0/3
	200貯水池内基準地点（全層）	1000	48	30	7.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7.7	48	29	0/3
	100減勢工（下流河川）	1000	130	33	23	－	－	－	－	－	－	－	－	－	23	130	62	0/3
大腸菌数	300バイパス取水工（流入河川）	300	－	－	－	2	<1	2	53	17	37	11	3	3	<1	53	14	○
（CFU/100ml）	301大久保谷（流入河川）	300	－	－	－	<1	2	6	93	31	110	14	14	<1	<1	110	30	○
	200貯水池内基準地点（表層）	300	－	－	－	<1	<1	2	5	5	<1	<1	<1	<1	<1	5	2	○
	200貯水池内基準地点（全層）	300	－	－	－	<1	<1	<1	2	2	1	1	<1	<1	<1	2	1	○
	100減勢工（下流河川）	300	－	－	－	<1	<1	<1	97	30	4	4	<1	<1	<1	97	15	○
全窒素（T－N）	300バイパス取水工（流入河川）	－	0.40	0.41	0.23	0.61	0.52	0.66	0.80	0.69	0.57	0.60	0.57	0.50	0.23	0.80	0.55	－
（mg/l）	301大久保谷（流入河川）	－	0.33	0.39	0.20	0.42	0.44	0.42	0.65	0.47	0.36	0.40	0.44	0.41	0.20	0.65	0.41	－
	200貯水池内基準地点（表層）	－	0.43	0.47	0.37	0.38	0.39	0.36	0.41	0.40	0.57	0.36	0.47	0.45	0.36	0.57	0.42	－
	200貯水池内基準地点（全層）	－	0.44	0.49	0.37	0.59	0.45	0.47	0.59	0.43	0.94	0.90	0.46	0.53	0.37	0.94	0.56	－
	100減勢工（下流河川）	－	0.35	0.44	0.40	0.41	0.41	0.43	0.55	0.33	0.35	0.67	0.45	0.41	0.33	0.67	0.43	－
全りん（T－P）	300バイパス取水工（流入河川）	－	0.013	0.016	0.008	0.015	0.018	0.019	0.022	0.019	0.023	0.018	0.015	0.014	0.008	0.023	0.017	－
（mg/l）	301大久保谷（流入河川）	－	0.017	0.007	0.009	0.016	0.021	0.023	0.031	0.026	0.018	0.019	0.012	0.013	0.007	0.031	0.018	－
	200貯水池内基準地点（表層）	0.03	0.008	0.006	0.005	0.008	0.007	0.011	0.011	0.015	0.009	0.008	0.007	0.004	0.004	0.015	0.008	○
	200貯水池内基準地点（全層）	0.03	0.012	0.008	0.008	0.006	0.007	0.011	0.015	0.014	0.010	0.008	0.009	0.007	0.006	0.015	0.010	○
	100減勢工（下流河川）	－	0.009	0.005	0.009	0.006	0.008	0.011	0.014	0.008	0.011	0.006	0.006	0.018	0.005	0.018	0.009	－
クロロフィルa	300バイパス取水工（流入河川）	－	<1	<1	2	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	2	1	－
（μg/l）	301大久保谷（流入河川）	－	<1	<1	2	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	2	1	－
	200貯水池内基準地点（表層）	－	2	2	1	2	<1	<1	<1	2	5	2	3	2	<1	5	2	－
	200貯水池内基準地点（全層）	－	1	2	3	2	1	1	1	1	2	－	2	1	1	3	2	－
	100減勢工（下流河川）	－	2	1	8	1	<1	1	<1	2	<1	<1	2	3	<1	8	2	－
全亜鉛	300バイパス取水工（流入河川）	0.03	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	○
（mg/l）	301大久保谷（流入河川）	0.03	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	○
	200貯水池内基準地点（表層）	0.03	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	0.001	○
	200貯水池内基準地点（全層）	0.03	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.003	0.002	○
	100減勢工（下流河川）	0.03	0.001	<0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	0.002	<0.001	0.002	0.001	○
ノニルフェノール	300バイパス取水工（流入河川）	0.001	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
（mg/l）	301大久保谷（流入河川）	0.001	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	200貯水池内基準地点（表層）	0.001	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	0.00006	○
	100減勢工（下流河川）	0.001	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LAS(直鎖アルキルベンゼン	300バイパス取水工（流入河川）	0.03	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
スルホン酸およびその塩）	301大久保谷（流入河川）	0.03	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
（mg/l）	200貯水池内基準地点（表層）	0.03	0.0008	<0.0006	0.0076	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.0018	<0.0006	0.0024	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.0076	0.0014	○
	100減勢工（下流河川）	0.03	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※浦山川流域の環境基準類型は未指定ですが、河川は下流の荒川上流域の類型基準、ダム湖は荒川上流の二瀬ダム湖の類型基準を参考にしています。

(2)健康項目

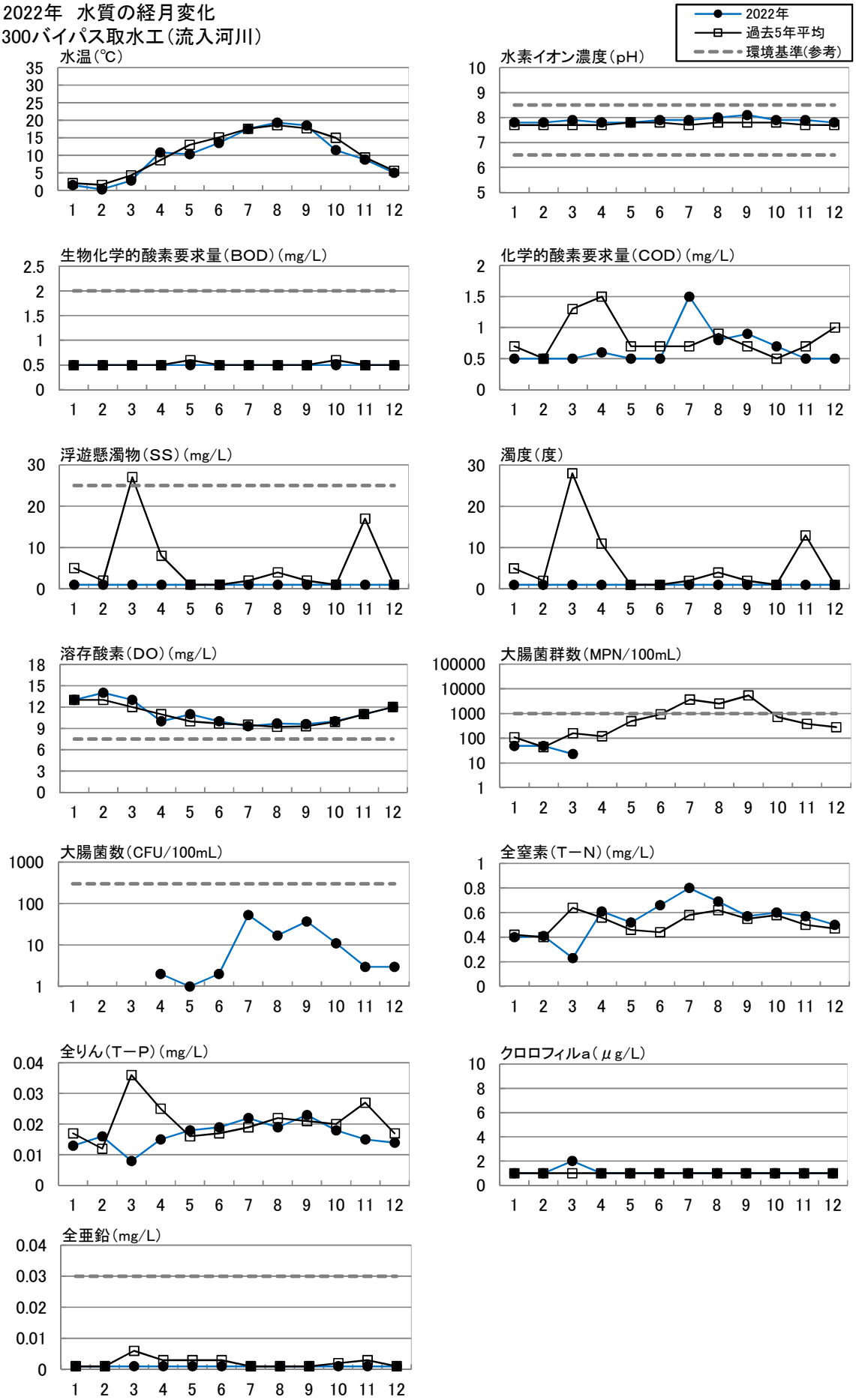
測定項目		環境基準値	地点名	８月
カドミウム	(mg/l)	0.003	200貯水池内基準地点	<0.0003
全シアン	(mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.1
鉛	(mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.005
六価クロム	(mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.01
砒素	(mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.005
総水銀	(mg/l)	0.0005	200貯水池内基準地点	<0.0005
アルキル水銀	(mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.0005
PCB	(mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.0005
ジクロロメタン	(mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.002
四塩化炭素	(mg/l)	0.002	200貯水池内基準地点	<0.0002
1，2－ジクロロエタン	(mg/l)	0.004	200貯水池内基準地点	<0.0004
1，1－ジクロロエチレン	(mg/l)	0.1	200貯水池内基準地点	<0.01
シス－1，2－ジクロロエチレン	(mg/l)	0.04	200貯水池内基準地点	<0.004
1，1，1－トリクロロエタン	(mg/l)	1	200貯水池内基準地点	<0.1
1，1，2－トリクロロエタン	(mg/l)	0.006	200貯水池内基準地点	<0.001
トリクロロエチレン	(mg/l)	0.03	200貯水池内基準地点	<0.003
テトラクロロエチレン	(mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.001
1，3－ジクロロプロペン	(mg/l)	0.002	200貯水池内基準地点	<0.0002
チウラム	(mg/l)	0.006	200貯水池内基準地点	<0.001
シマジン	(mg/l)	0.003	200貯水池内基準地点	<0.0003
チオベンカルブ	(mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.002
ベンゼン	(mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.001
セレン	(mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.002
ふっ素	(mg/l)	0.8	200貯水池内基準地点	<0.08
ほう素	(mg/l)	1	200貯水池内基準地点	<0.1
1.4-ジオキサン	(mg/l)	0.05	200貯水池内基準地点	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/l)	10	200貯水池内基準地点	<1

(3)底質項目

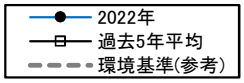
測定項目		地点名	2月	８月
強熱減量	(%)	200貯水池内基準地点	6.1	6.2
化学的酸素要求量（COD）	(mg/g)	200貯水池内基準地点	5	8
全窒素（T－N）	(mg/g)	200貯水池内基準地点	1.5	1.3
全りん（T－P）	(mg/g)	200貯水池内基準地点	0.88	0.66
硫化物	(mg/g)	200貯水池内基準地点	<0.01	0.01
鉄	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	39000	36000
マンガン	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	2700	1800
カドミウム	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.5	0.15
鉛	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	36.0	33.0
六価クロム	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.5	<0.01
砒素	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	12.00	8.45
総水銀	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	0.300	0.127
アルキル水銀	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.005	<0.005
PCB	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.01	<0.1
チウラム	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.01	<0.001
シマジン	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.01	<0.001
チオベンカルブ	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.02	<0.001
セレン	(mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.5	0.13
粒度組成（底質）4.75mm以上	(%)	200貯水池内基準地点		
粒度組成（底質）4.75～2mm	(%)	200貯水池内基準地点		
粒度組成（底質）2～0.425mm	(%)	200貯水池内基準地点	0.0	1.0
粒度組成（底質）0.425～0.075mm	(%)	200貯水池内基準地点	2.2	17.0
粒度組成（底質）0.075～0.005mm	(%)	200貯水池内基準地点	65.3	54.4
粒度組成（底質）0.005mm以下の粘ニ	(%)	200貯水池内基準地点	32.5	27.6

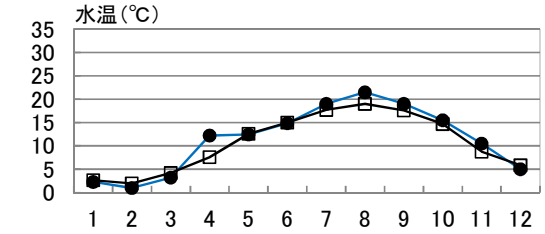
6. 2022年　水質の経月変化

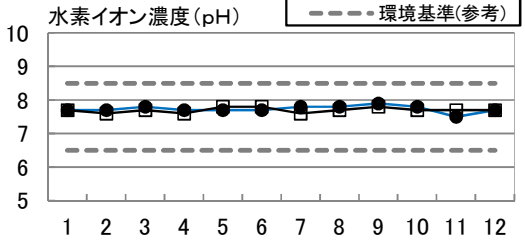
(1)300バイパス取水工(流入河川)

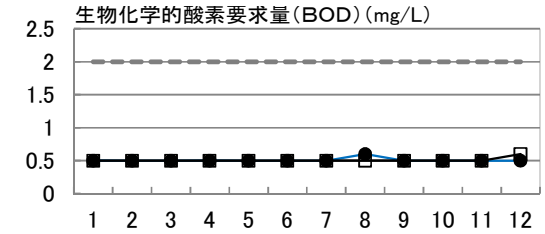


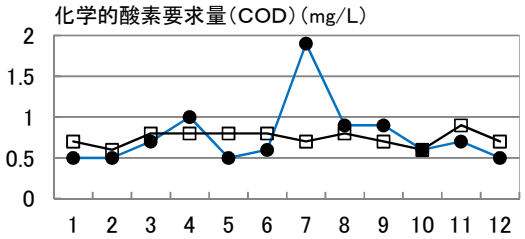
(2)301大久保谷(流入河川)

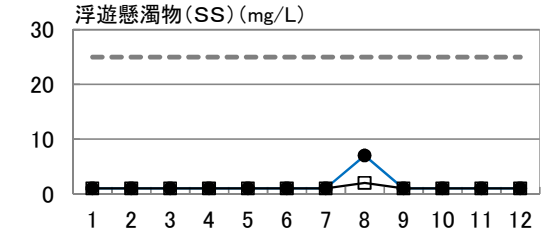


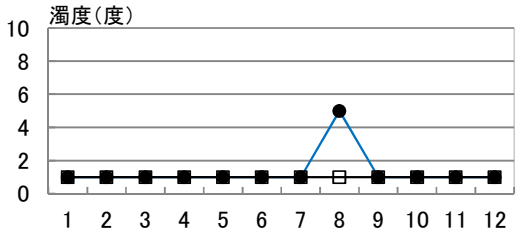


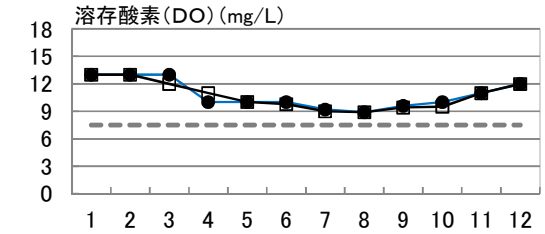


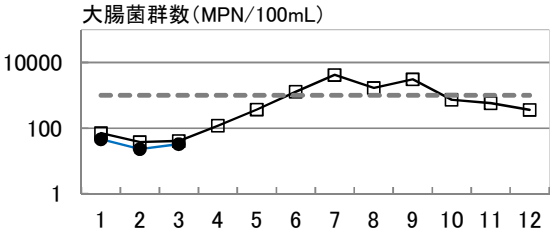


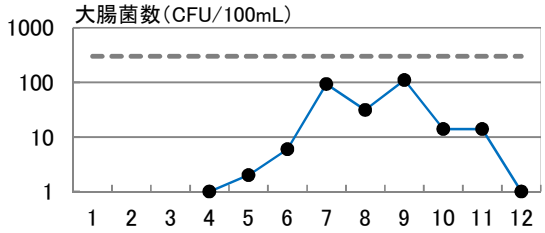


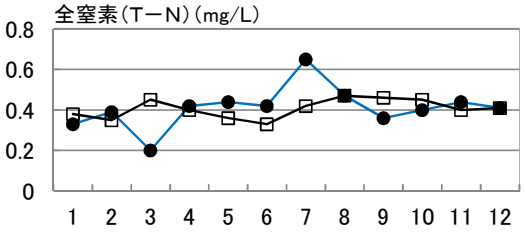


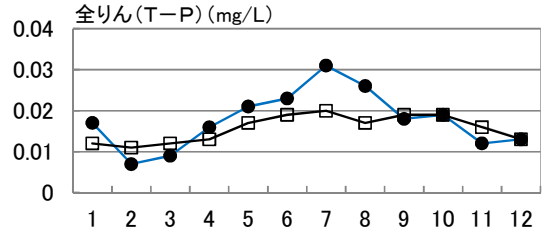


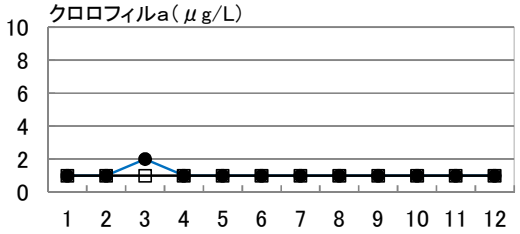


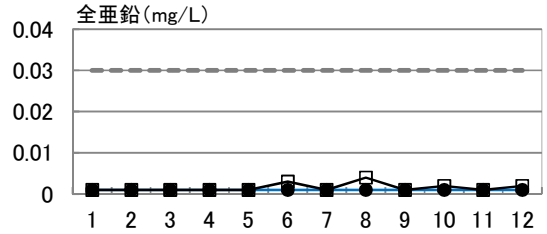




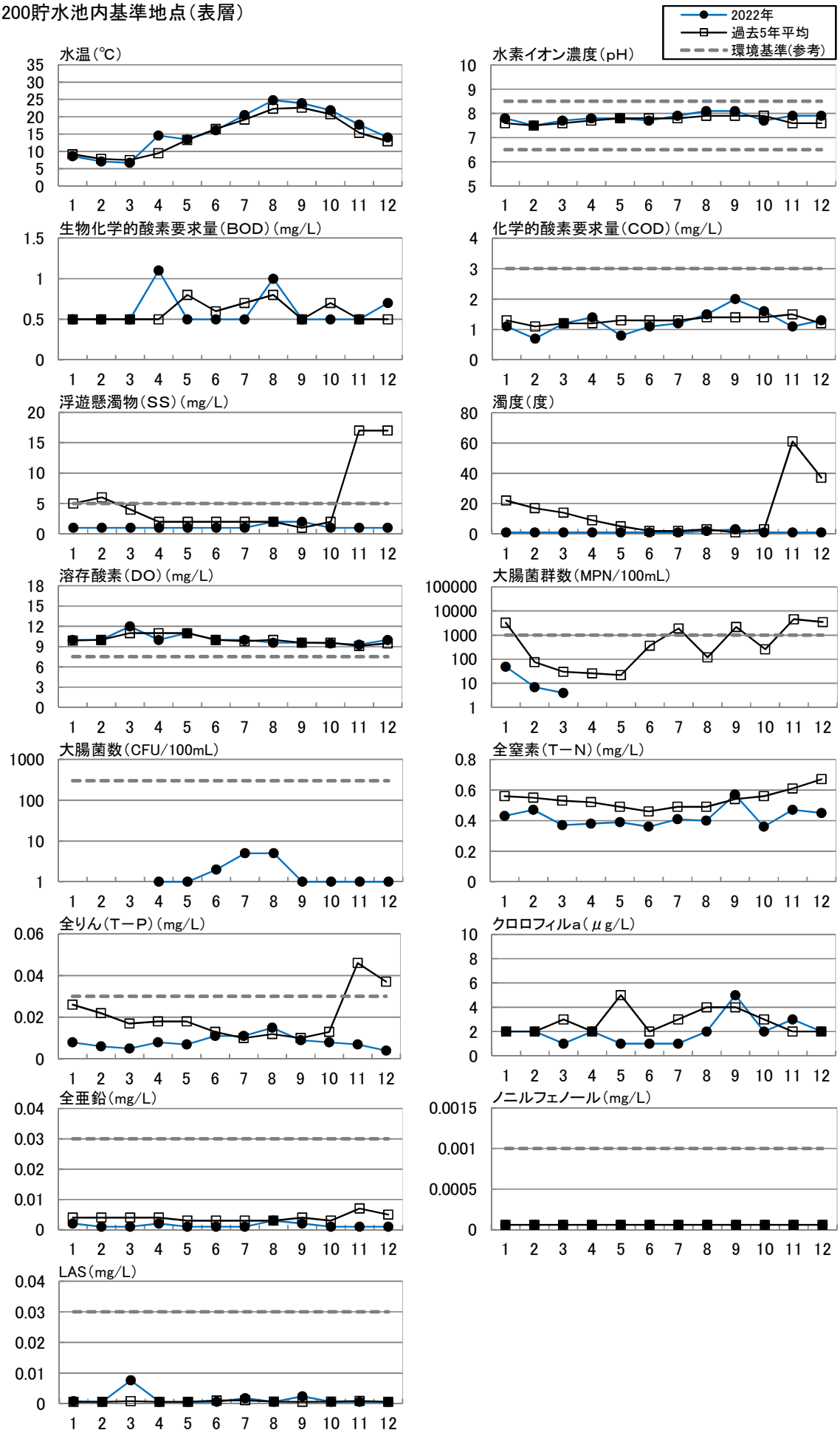




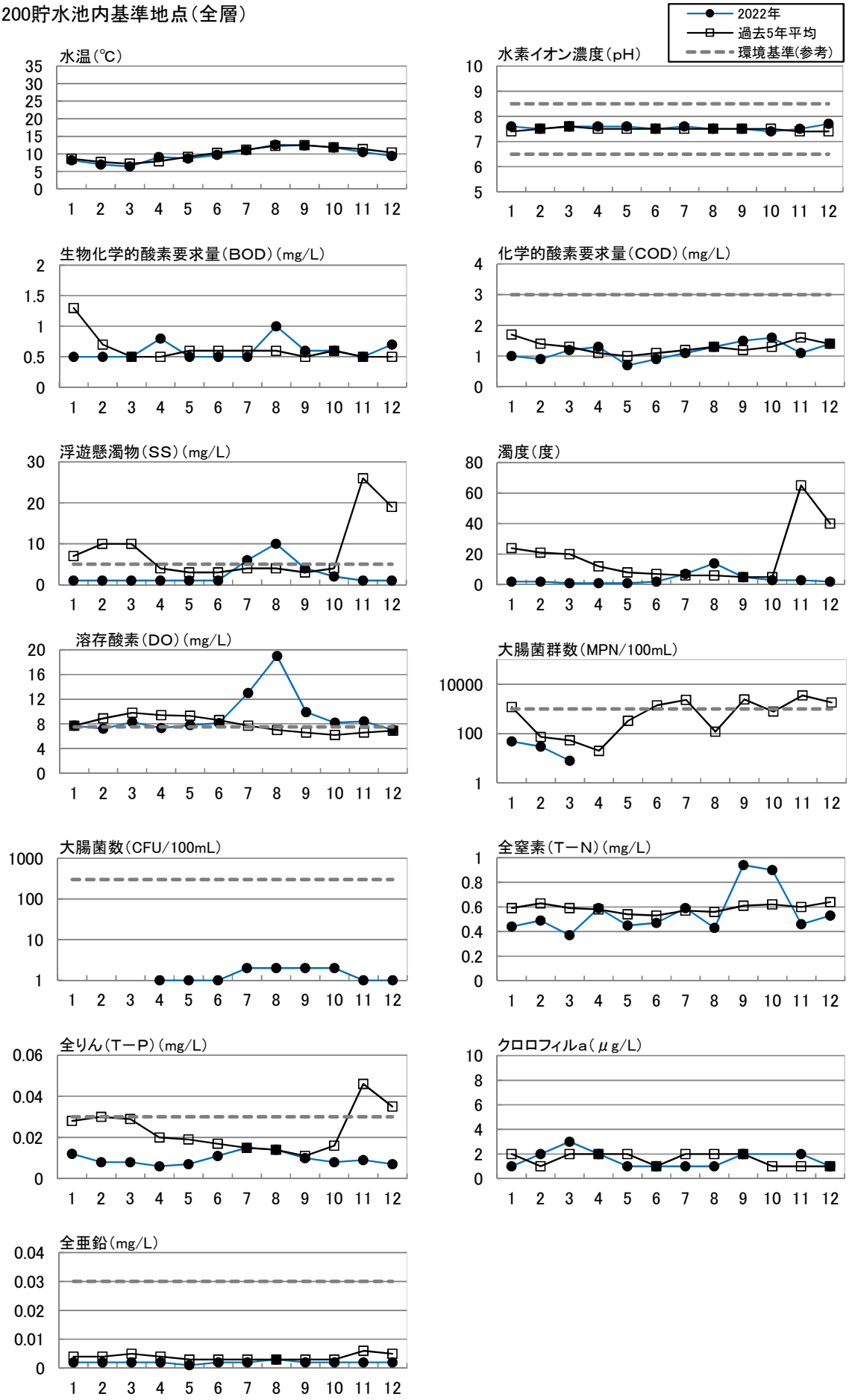




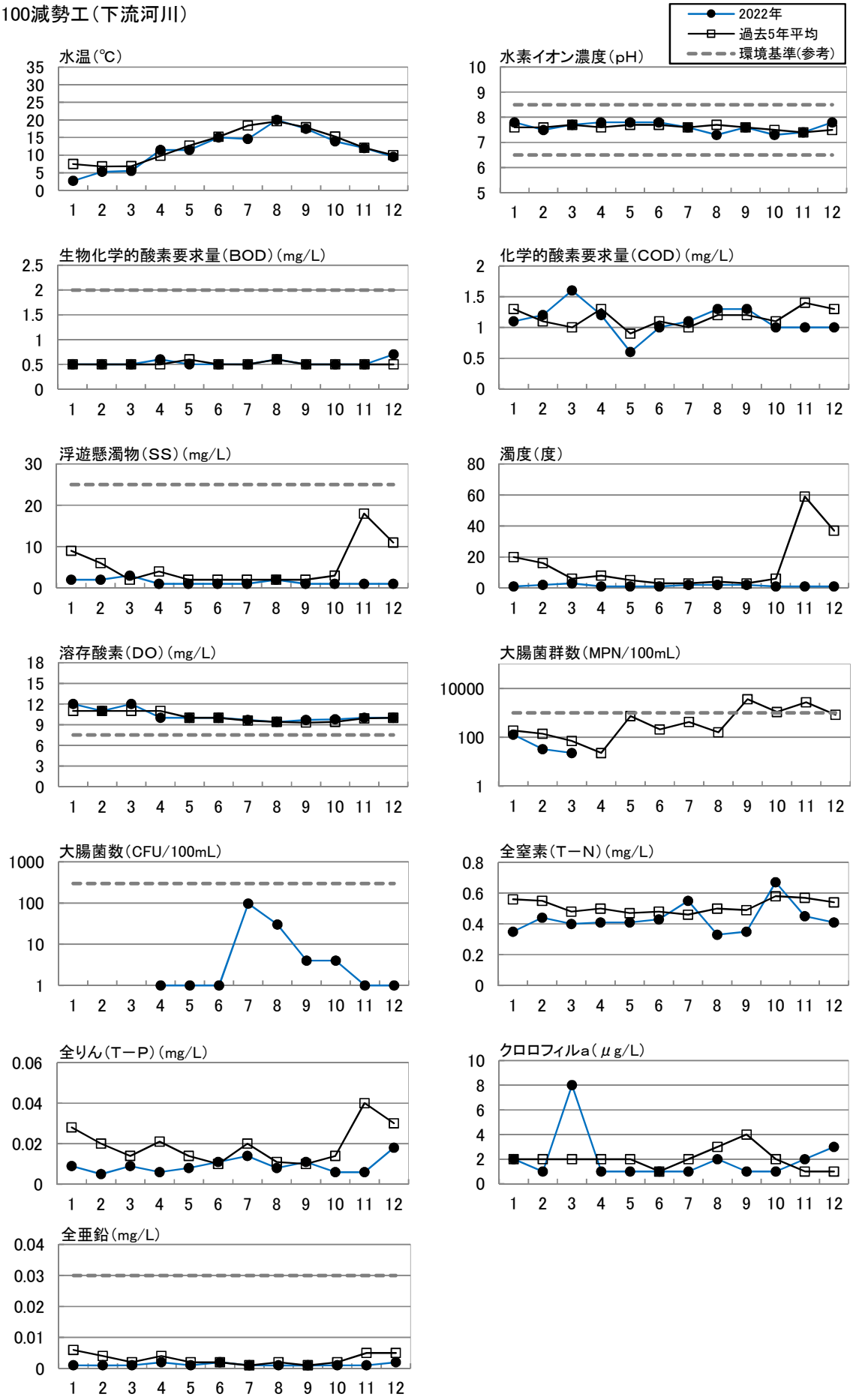
(3)200貯水池内基準地点(表層)



(4)200貯水池内基準地点(全層)

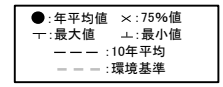


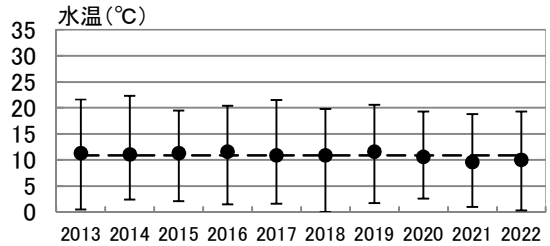
(5)100減勢工(下流河川)

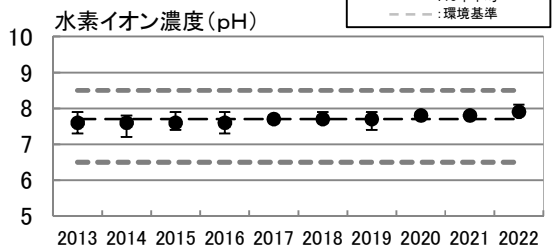


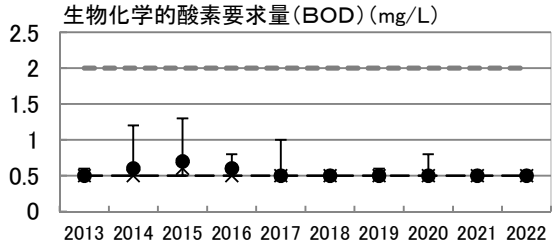
7. 2022年　水質の経年変化

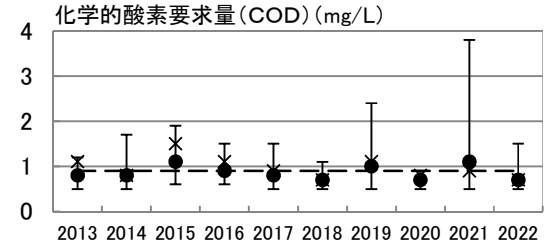
(1)300バイパス取水工(流入河川)

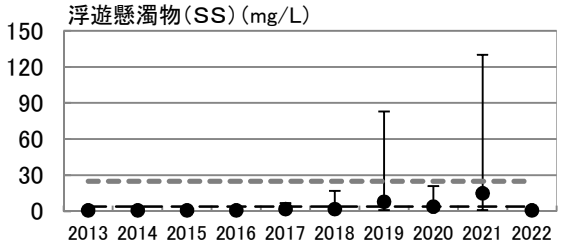


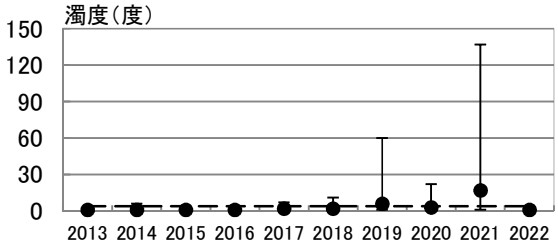


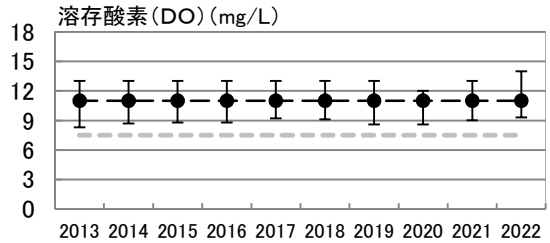


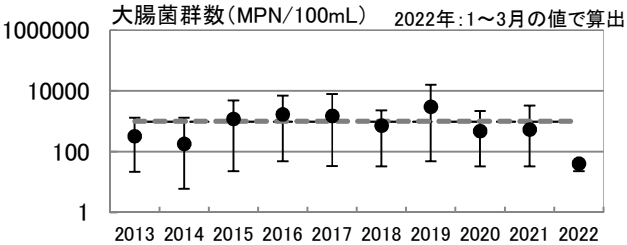


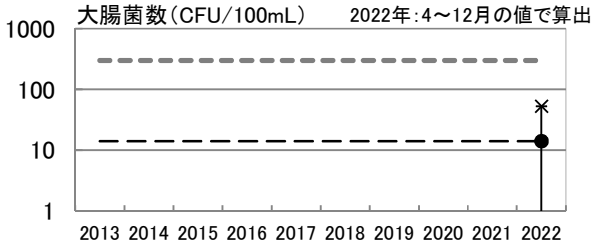


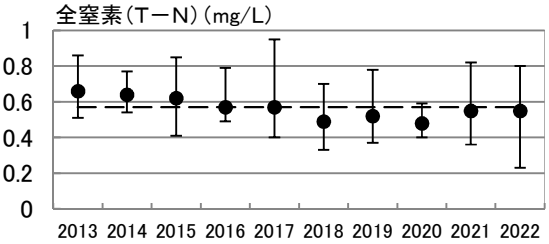


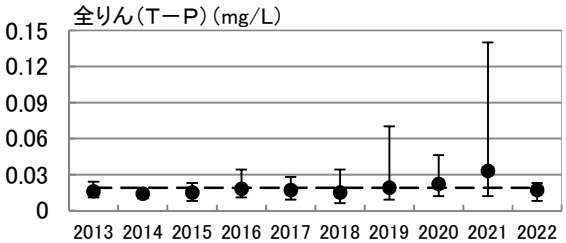


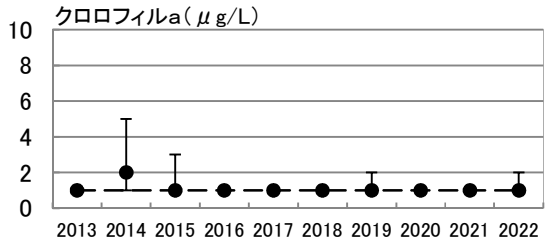


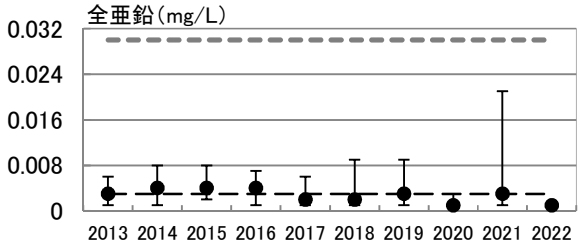




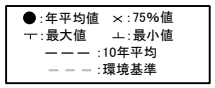


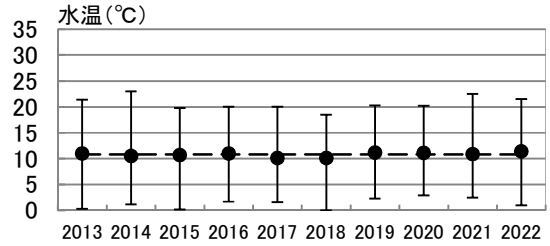


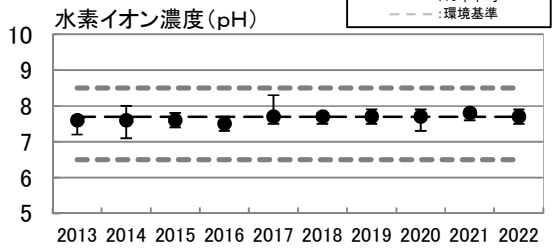


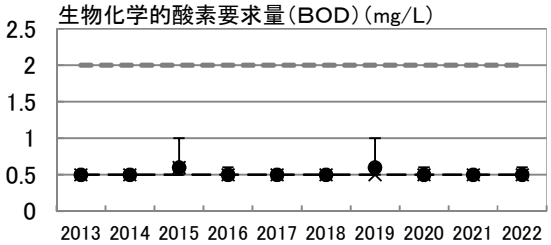


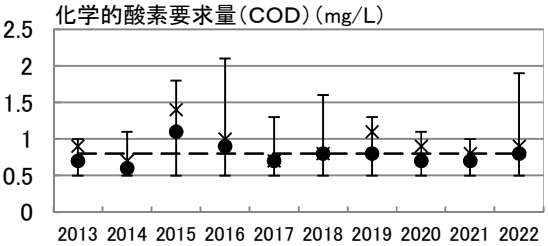
(2)301大久保谷(流入河川)

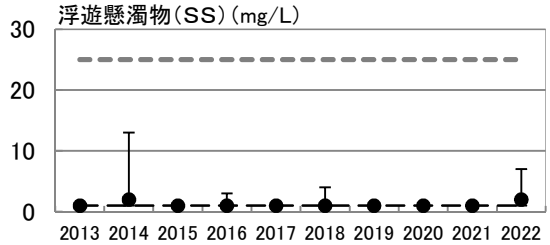


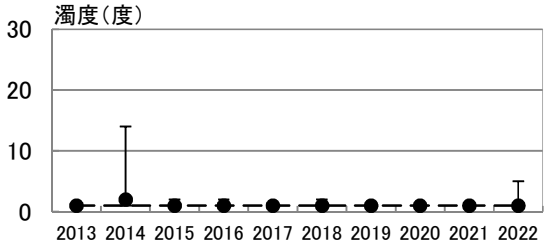


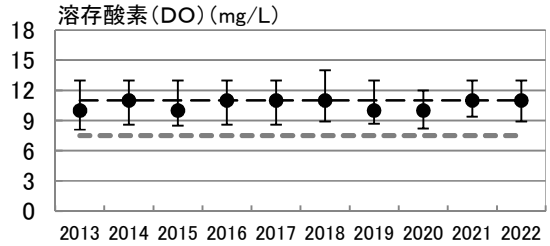


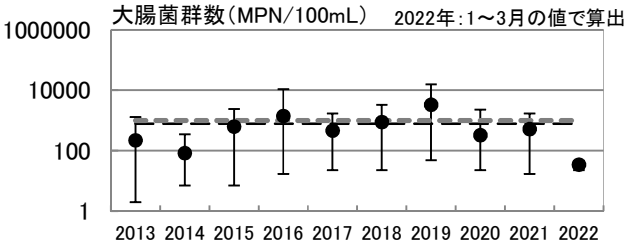


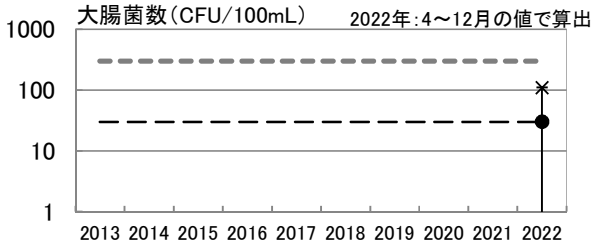


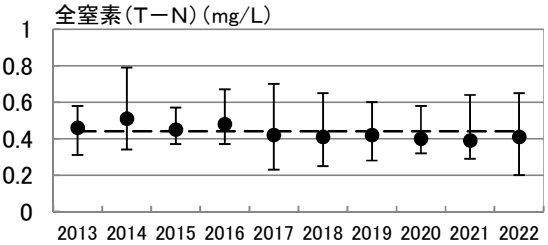


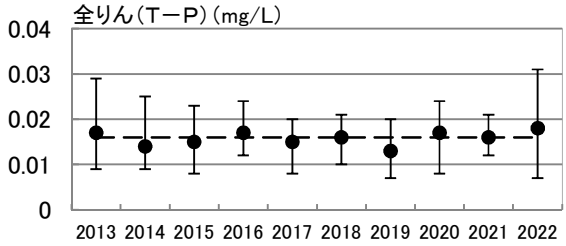


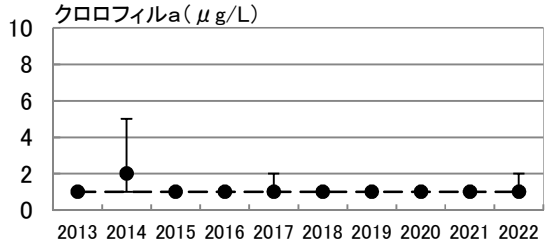


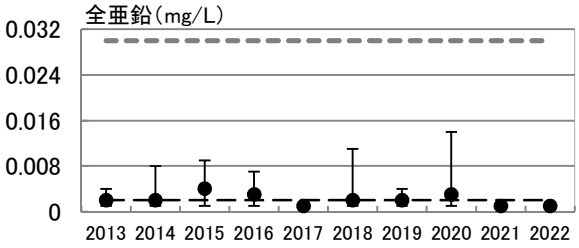




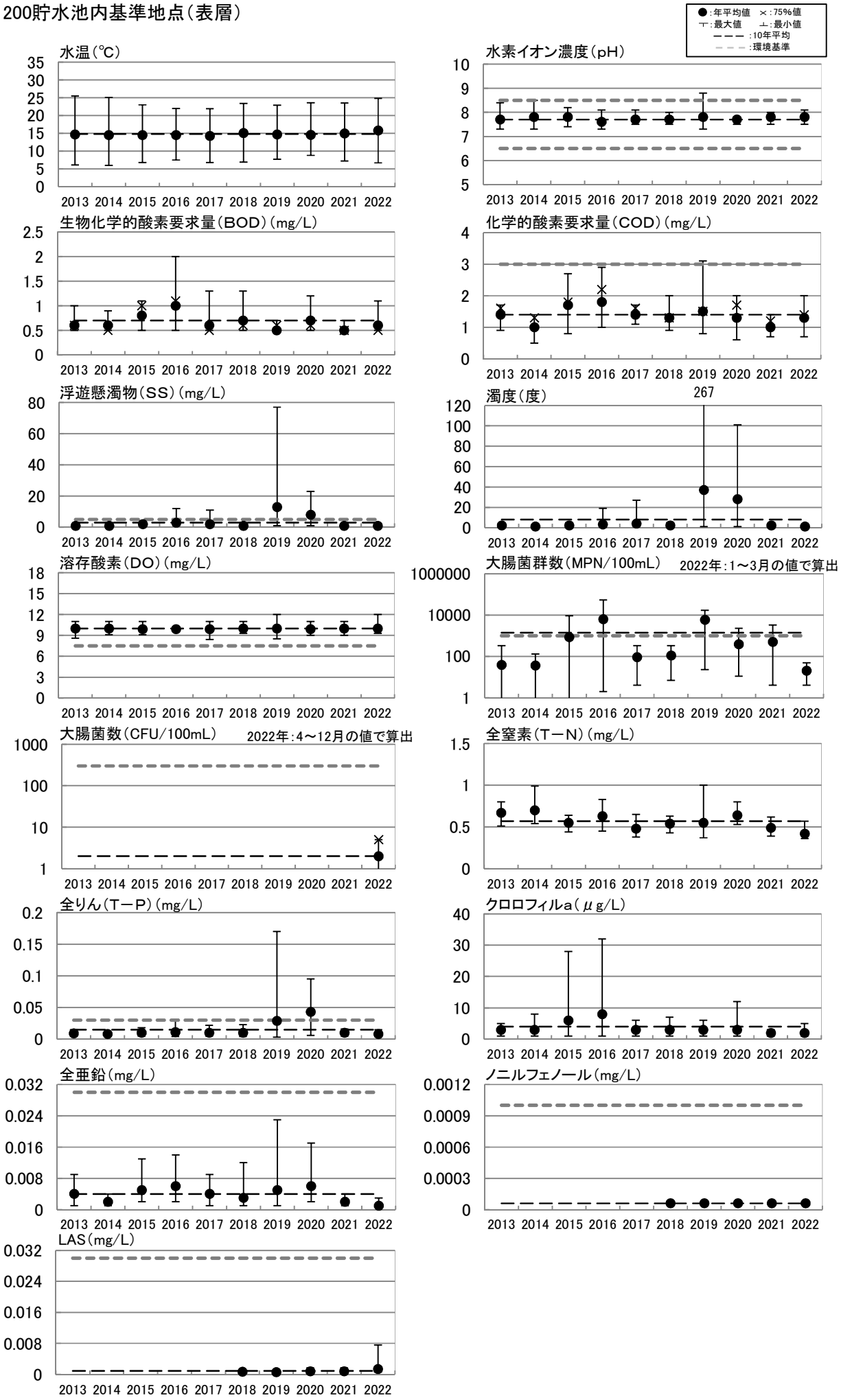




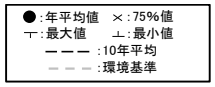


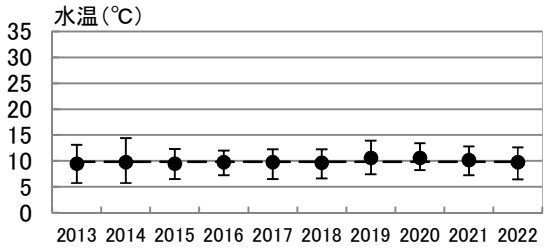


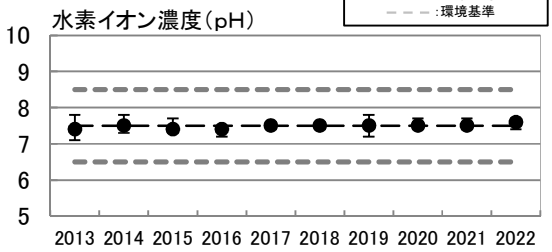
(3)200貯水池内基準地点(表層)

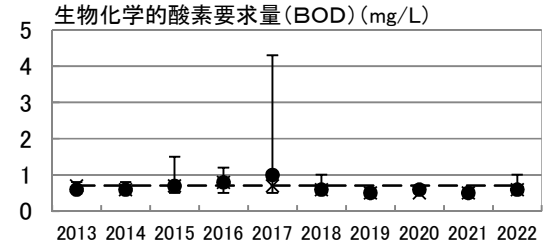


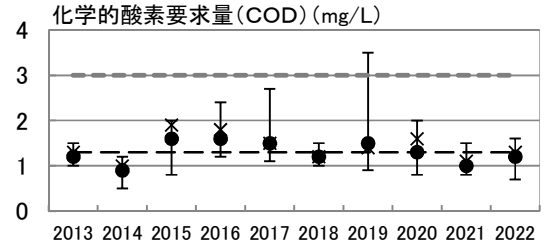
(4)200貯水池内基準地点(全層)

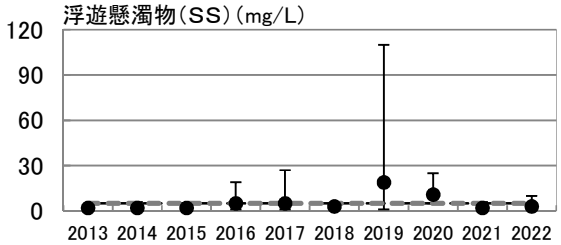


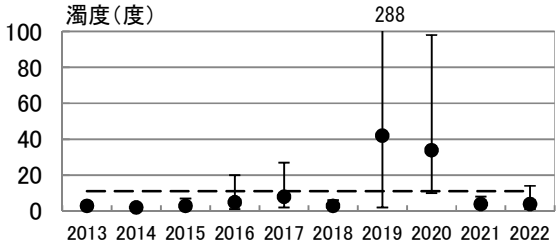


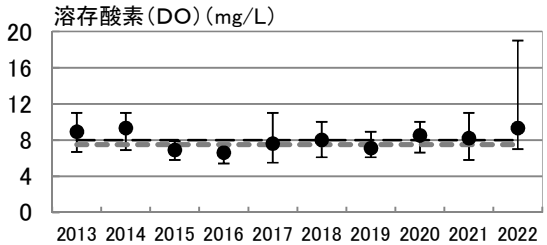


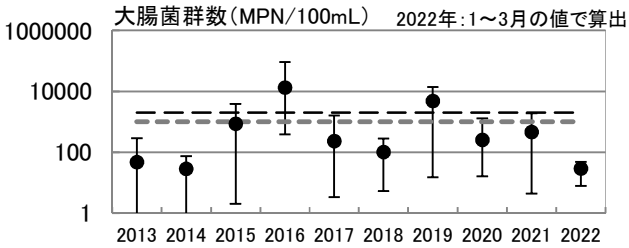


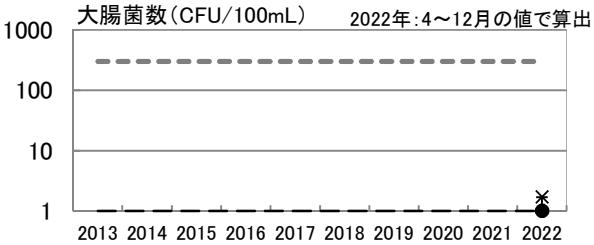


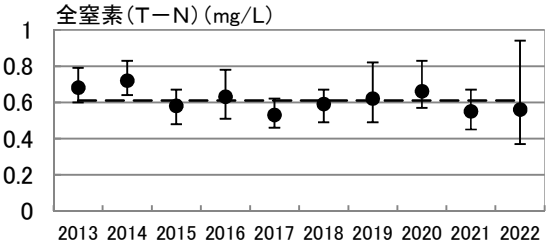


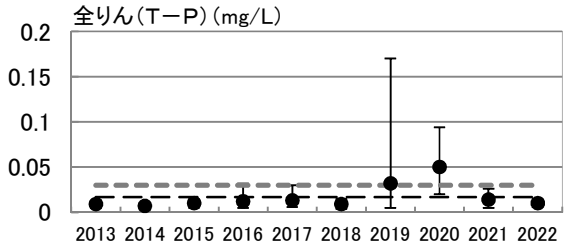


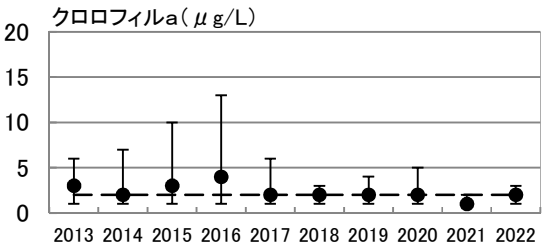


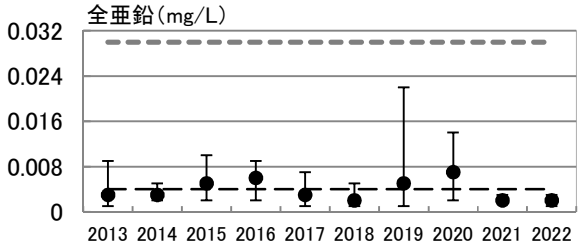




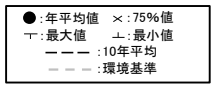


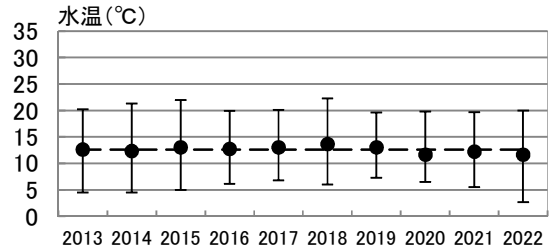


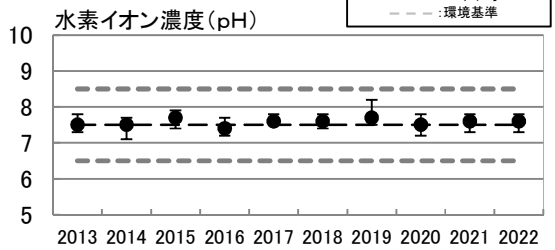


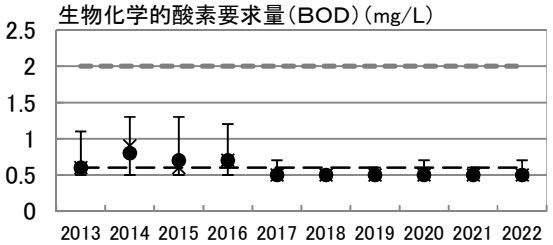


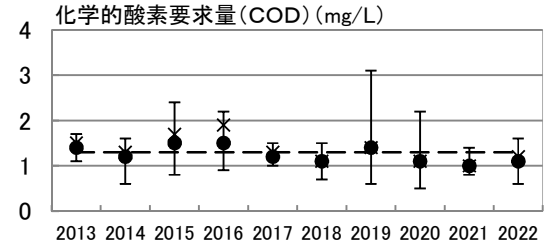
(5)100減勢工(下流河川)

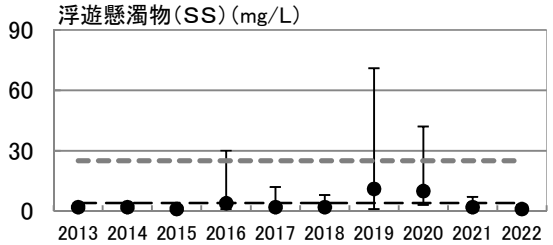


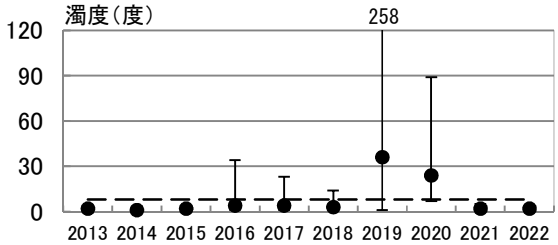


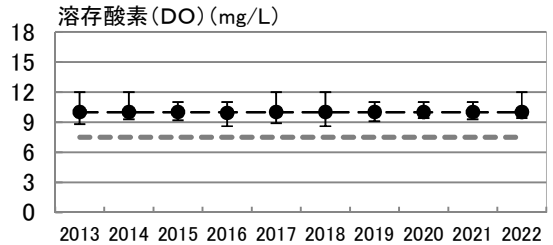


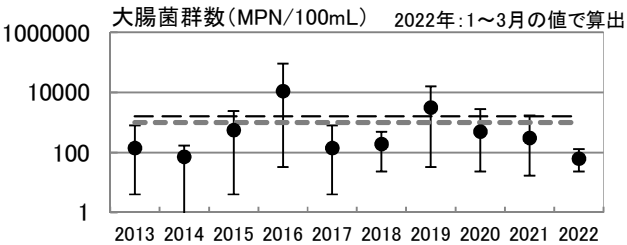


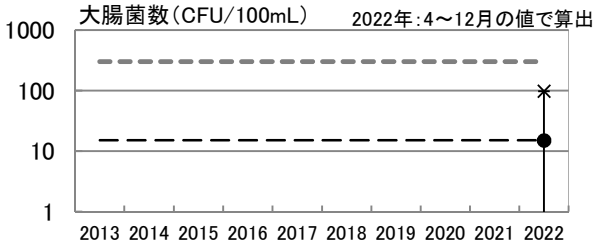


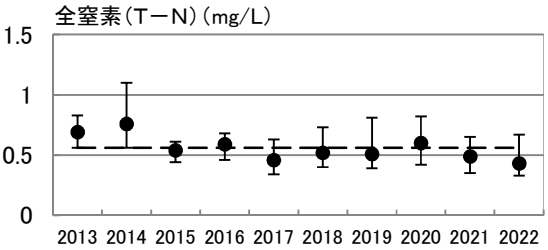


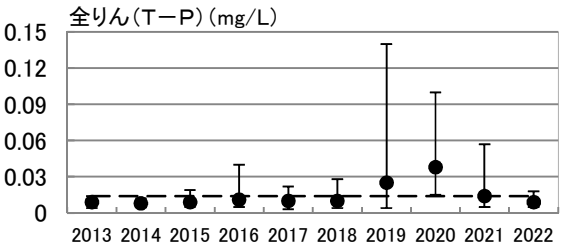


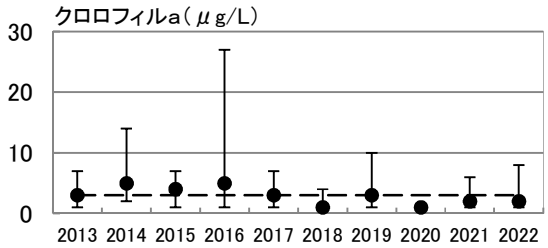


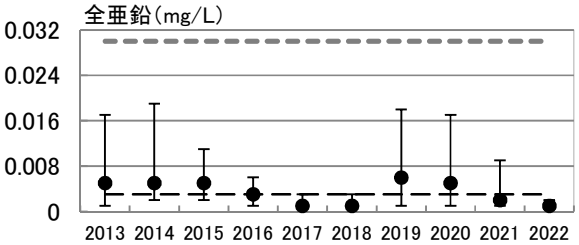






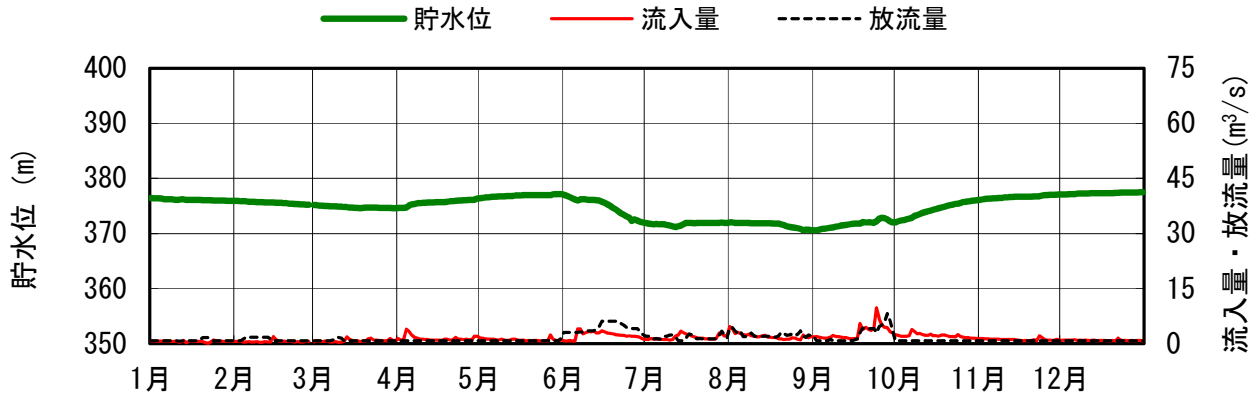






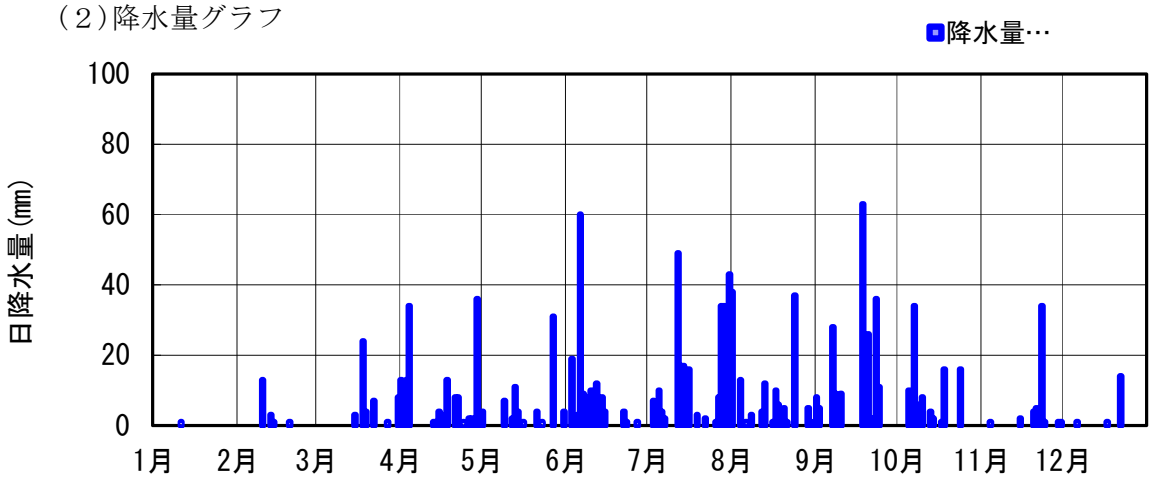
８．2022年　気象・流況

（１）貯水位、流入量、放流量グラフ

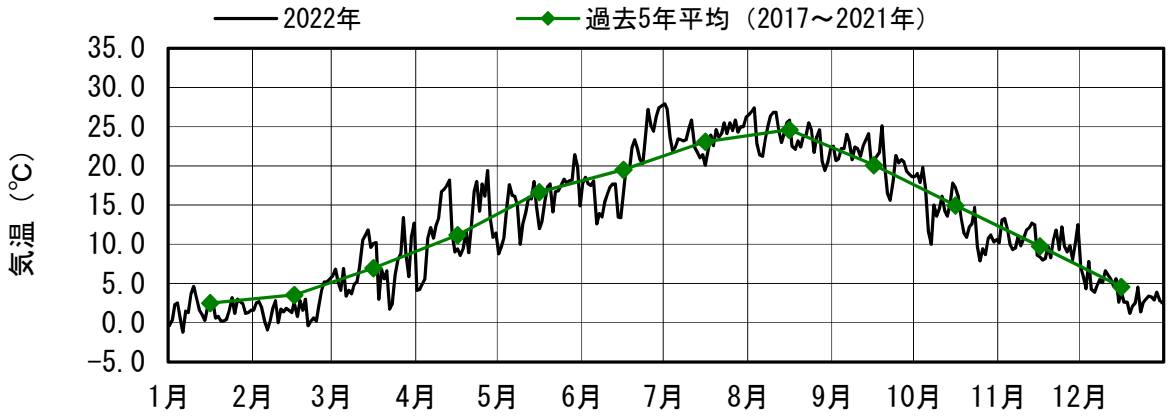


貯水位、流入量、放流量は速報値である。

（２）降水量グラフ



（３）気温グラフ



降水量および気温は、浦山ダム管理所地点のデータである。

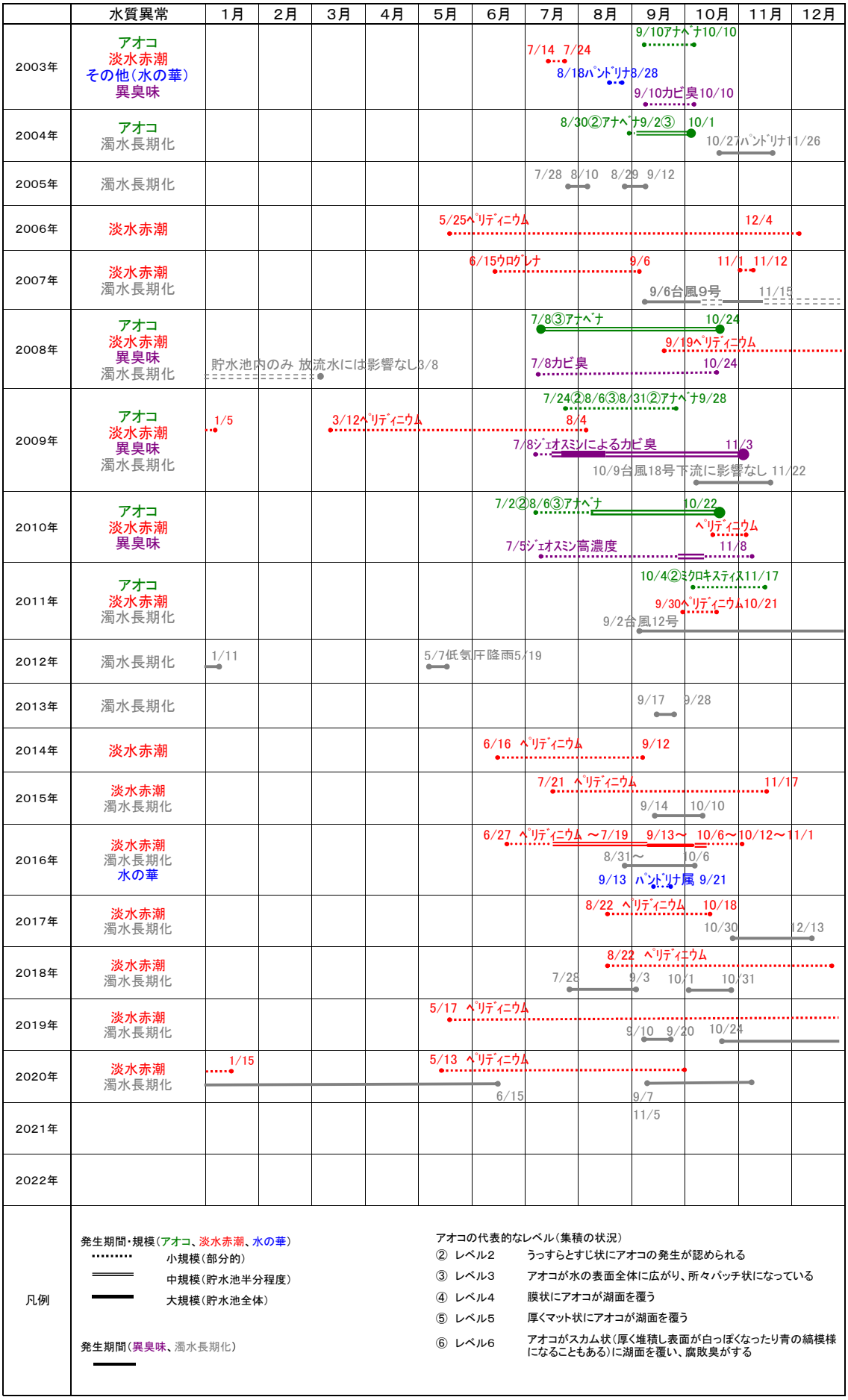
2022年の浦山ダム地点における降水量は1,184mmであり、累年平均1,497mm（2000年～2021年）の79%であった。

2022年の貯水池状況についてみると、荒川の流況低減に伴う都市用水、農業用水及び維持流量確保のための補給を断続的に行ったが、小規模な出水により、貯水位は大きく低下することなく9月30日時点でEL.371.99mの貯水位を確保していた。

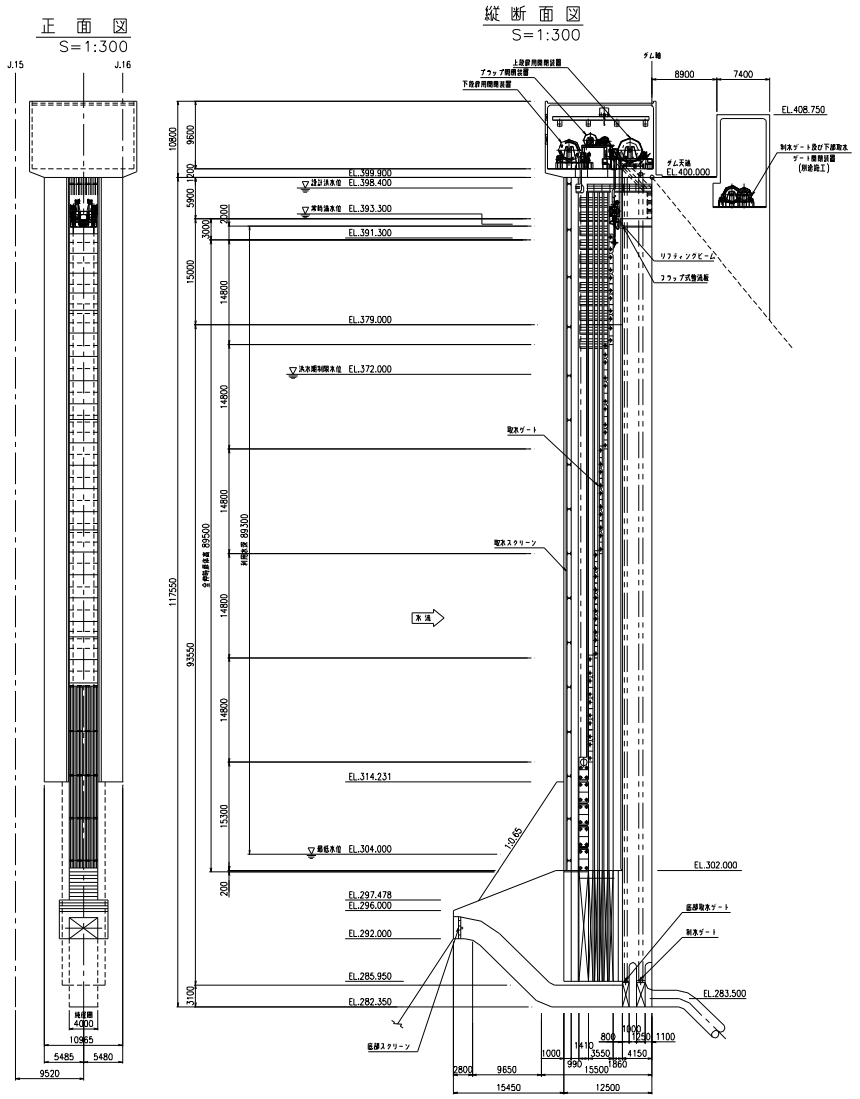
非洪水期の平常時最高貯水位（EL.393.30m）への移行は、10月1日から貯留に努めたが、その後まとまった降雨がなかったため、12月31日24時時点の貯水位はEL.377.46m（68.1%）となり、本年中の平常時最高貯水位への達成はできなかった。

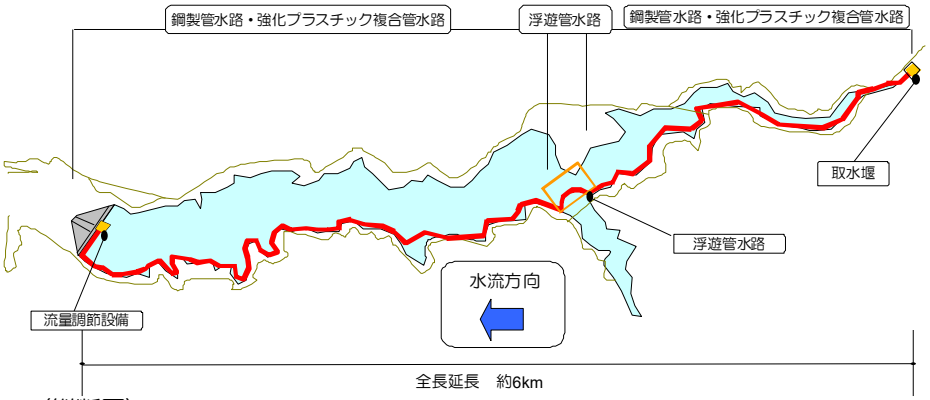
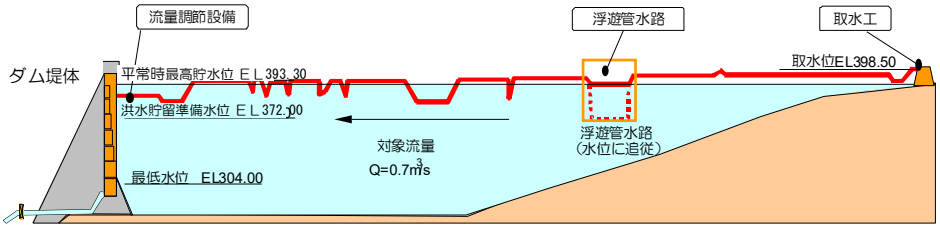
9. 水質異常の発生状況(浦山ダム)

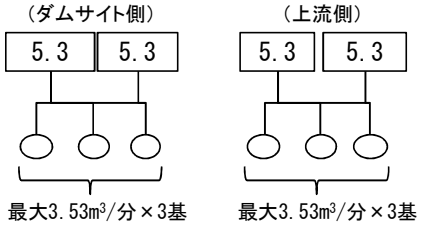
水質年報として取りまとめを始めた2003年(平成15年)以降における水質異常の発生状況は次図のとおりである。



10. 水質保全設備

施設区分	選択取水設備
形　式	直線多段式ローラーゲート　1門 ・純径間×全高　4.0m×89.5m ・段数　6段 ・取水蓋　有り(清水バイパス使用時は使用できず) ・取水範囲　EL.393.3m～EL.304.0m ・選択取水量　12.0m^3/s(取水深2.0m) ・最大取水量　40m^3/s(底部取水ゲート使用)
設置目的	冷濁水対策
設置時期	1996年度
施設構造等	
2022年 運用実績	1/1～1/10　取水深11.4m 1/11～3/18　選択取水設備点検のため全層取水 3/19～8/7　表層取水に変更（取水深2.1m～9.9m） 8/8～12/31　等水温放流のため取水深変更（取水深17.0m～32.8m）

施設区分	清水バイパス
形　式	取水堰（後方取水型ｺﾝｸﾘｰﾄ固定堰〈堰高3.5m、堰幅17m〉　1式 管水路（φ1,000mm）　5,945m 最大流量　0.7m^3/s 流量調節設備（流量調節弁　ﾊﾞﾀﾌﾗｲ型弁φ600mm×1門）　1式 制御設備　1式 水位観測設備　1式
設置目的	濁水長期化の抑制
設置時期	2006年度
施設構造等	〈平面図〉  〈縦断図〉 
2022年 運用実績	淡水赤潮、カビ臭及び長期濁水等による下流への影響軽減のため、常時運用を基本とした。今年の運用実績としては、年間110日間の運用を行った。 なお、清水バイパスの運用停止を行った理由は、①台風等の影響による高濁度水の流入　②取水工、取水工上流での工事実施　③選択取水設備の点検・整備時等である。

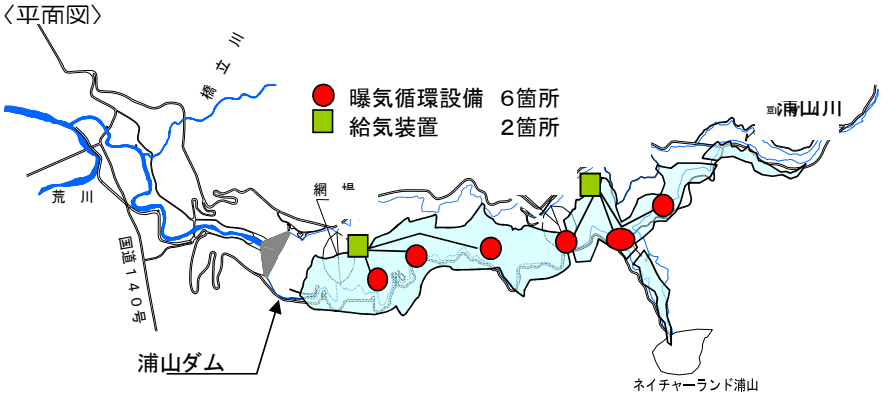
施設区分	曝気循環設備
形　式	散気管　数量:6基(上流から1号機～6号機まで)　散気水深:20m 寸法　1･3･5号機　80A×1,500mm(リング状)　2･4･6号機　80A×2,000mm(リング状) コンプレッサー　形式:オイルフリー式空冷コンプレッサー　数量:4台 吐出量:5.3m^3/min(吸い込み状態換算値、1台当たり) 高圧受変電設備　数量:2台
送気方式	□:コンプレッサー(m^3/min) 点線は予備機 ○:吐出口(散気式) ●:吐出口(複合型)、 △:吐出口(間欠揚水筒式) ▲:吐出口(散気式揚水筒) 
設置目的	アオコの発生抑制
設置時期	○設置:2010年度 ○運用:2011年～

空気圧縮機		曝気方式	
能力(m^3/min)	台数	種類	基数
5.3	4	散気管 水位追従式	6
総空気量(m^3/min)	21.2	平均水深	20
K値	364	KH値	7280

・新規導入(6基):2011年～

施設構造等

〈平面図〉



2022年運用実績	
4/15～4/27	貯水池水温が上昇したため、半減運転を開始
4/28～5/5	気温が上昇したため、全機フル運転に切り替え
5/6～9/6	4号曝気循環設備を停止、下流の設備を半減運転に切り替え
9/7～10/5	気温が低下したため、上流の設備も半減運転に切り替え
10/6	さらに気温が低下したため、運転計画より全機停止